

事業計画書

	事業名	食のセーフティーネットづくり、生活困窮者と食品ロスの問題解消 事業							
	団体名	まつどフードバンク							
事業概要									
企業や農家、一般家庭などから余った食材を譲り受けて、生活困窮者、ひとり親、子ども食堂、居場所、グループホームなどに届ける食料支援活動（食のセーフティーネットづくり）									
取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	<p>核家族化が進み、近年ではひとり親世帯が増えつつあります。そのような状況の中で、生活していくのが厳しく満足な食事が食べられない、子どもが家に帰っても一人など、子どもの生活環境が変わってきています。</p> <p>① 支援する子ども食堂が増えてきているが、食材確保に困っている。</p> <p>② 支援する子どもの居場所ができていくが、子どもに与える食べ物や飲み物に困っている。（自費で賄っている）</p> <p>③ 生活困窮者が増えている。</p> <p>④ 食品ロス（食品廃棄）が、企業や一般家庭で出ている。</p>								
事業の目的	余っている食べ物と食料に困っている人を結ぶ仲介役となり、余っている食べ物を持っている支援者と食べ物を必要としている受益者をつなぎ、受益者の自立する力をつける支援をし、生活困窮者と食品ロスをなくす。								
事業内容	<p>1 事業内容</p> <p>① 企業や農家、一般家庭で余った食品や食材を譲り受ける。</p> <p>② フードドライブを開催する。</p> <p>③ 他のフードバンクから食材を譲り受ける。</p> <p>④ 子ども食堂に食材を提供する。</p> <p>⑤ 子どもの居場所に食べ物や飲み物を提供する。</p> <p>⑥ 生活困窮者に食品や食材を提供する。</p> <p>・食品や食材を取に來られない方には郵送または自宅にお届けする。</p> <p>⑦ フードパントリーを開催する。</p> <p>⑧ 子どもを対象としたイベントを開催する。</p> <p>・松戸市が開催するイベントに参加したり、新松戸または東松戸で運営している子ども食堂と共同で3時間程度のイベントを開催する。</p> <p>⑨外部講師による講義の実施（対象：生活困窮者、内容：食と生活）</p> <p>※新規会員や食品・食材を提供して頂いた方にお礼状を送付する。</p> <p>2 スケジュール（別添資料参照）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>① ・ ③ ④ ・ ⑤</td> <td>構成員、企業や農家、松戸市内</td> </tr> </tbody> </table>			実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	4月	① ・ ③ ④ ・ ⑤	構成員、企業や農家、松戸市内
実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など							
4月	① ・ ③ ④ ・ ⑤	構成員、企業や農家、松戸市内							

	5月	①・③ ④・⑤・⑧	構成員、企業や農家、松戸市内
	6月	①・③ ④・⑤	構成員、企業や農家、松戸市内
	7月	④・⑤・⑥・⑦・⑧	構成員、生活困窮者、松戸市内
	8月	④・⑤・⑥・⑦	構成員、生活困窮者、松戸市内
	9月	④・⑤・⑥・⑦	構成員、生活困窮者、松戸市内
	10月	④・⑤・⑥・⑦・⑧	構成員、生活困窮者、松戸市内
	11月	④・⑤・⑥・⑦・⑧ ⑨	構成員、外部講師、生活困窮者、松戸市内
	12月	②・④・⑤・⑥	構成員、生活困窮者、松戸市内
	1月	④・⑤・⑥・⑦	構成員、生活困窮者、松戸市内
	2月	④・⑤・⑥・⑦	構成員、生活困窮者、松戸市内
	3月	②・④・⑤・⑥・⑧	構成員、生活困窮者、松戸市内
既存の事業から ステップアップ する部分 (ステップアップ 助成のみ)			
事業の目標	<p>① フードバンクの利用者が増える（生活困窮者が減る） 【年間フードバンク利用者：個人40人・団体60団体】 【年間フードパントリー利用者：60組（人）】 【年間イベント参加者：60組（人）】</p> <p>② フードロスが減る（取扱量が増える） 【年間フードロス：提供量2.0トン＝削減量2.0トン】 【年間譲り受けた支援量：1.0トン】 【年間フードドライブ収集量：1.0トン】</p>		
今後の展望 (課題)	<p>フードバンクの活動を継続することで、フードバンクの利用者が増え、子ども食堂や子供の居場所を運営している団体が安定した運営ができるようになる。生活困窮者への支援も増やし自立できるようにしっかりサポートしたい。また、フードロスに関しても、もっと減らすことができる。</p>		

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

	科目	金額	積算内訳
団体	会費収入	¥ 30,000	3000円×10人=30,000円 (現会員6名、新規会員4名見込み)
	イベント収入	¥ 25,000	5,000円×5回=25,000円 (参加費等200円×25人×5回)
	自己資金の合計額 (A)	¥ 55,000	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 155,000	

【支出】

	科目	予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	使用料及び賃借料	¥ 26,000	イベント&パントリー会場使用料 500円×4時間×5回=10,000円 パントリー会場使用料 2000円×2時間×4回=16,000円
	消耗品費	¥ 12,600	A4コピー紙500枚入1000円、ポスター用紙50円×10枚=500円、プリンター用インク1セット8000円、布テープ1個100円、フードバンク旗代3000円など
	通信運搬費	¥ 68,100	ゆうメール300円×10か所=3,000円、封筒代10枚入り100円、ゆうパック1000円×40人=40,000円、ガソリン代5000円×5回=25,000円、など
	印刷製本費	¥ 15,000	チラシ印刷5円×200枚×3回=3,000円、リーフレット20円×200部×3回=12,000円、など
	食糧費	¥ 25,500	イベント用仕入代：お菓子3000円×5回=15,000円、飲み物(ラムネ) 70円×30本×5回=10,500円、など
	報償費	¥ 5,000	外部講師謝礼：5000円×1回
	保険料	¥ 2,800	行事保険料：560円×5回=2800円
対象経費の合計 (D)		¥ 155,000	
その他経費			
その他経費の合計 (E)		¥ 0	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 155,000	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。